

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2022年4月8日	～	2022年6月9日
	第2学期	2022年6月10日	～	2022年8月8日
	第3学期	2022年10月3日	～	2022年12月2日
	第4学期	2022年12月5日	～	2022年2月13日
試験期間	第1学期	2022年6月上旬		
	第2学期	2022年8月上旬		
	第3学期	2022年11月下旬		
	第4学期	2022年2月上旬		
授業時間	場所	津島キャンパス	鹿田キャンパス	
	1限	8:40～9:30	8:40～9:40	
	2限	9:40～10:30	9:50～10:50	
	3限	10:45～11:35	11:00～12:00	
	4限	11:45～12:35	12:50～13:50	
	5限	13:25～14:15	14:00～15:00	
	6限	14:25～15:15	15:10～16:10	
	7限	15:30～16:20	16:20～17:20	
	8限	16:30～17:20	17:30～18:30	
	9限	17:30～18:20		
	10限	18:30～19:20		

※令和3年4月から津島キャンパスが50分授業へ変更。ただし、医学部・歯学部・薬学部において鹿田キャンパスで行われる授業に限り、60分授業とする。

※夜間主コースの授業については、第1、第2学期を前期授業期間とし、第3、第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車、徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
 - ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。
(所要時間約7～10分)
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
 - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。
乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
 - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。
(所要時間 バス約10分、徒歩約7分)

鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
 - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車、「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
 - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き、【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き、【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
- 路面電車
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。
(所要時間 電車約10分、徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

(<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地： 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階



津島地区東キャンパス

E1	高福利施設(ピーチユニオン) 学生会館	E4	学生総合支援センター学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成館	E6	清水記念体育館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター	E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター異がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟			E8	第一武道館
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進センター 基幹教育センター			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話： 086-251-7186(直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月1日(金)15時まで 第3・4学期:9月20日(火)15時まで

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
(申込期限は延長しません。)

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

※コロナ禍の場合、所属大学の単位互換担当者を通じて以下資料を配布する可能性があります。

1. 第1・2学期:4月8日頃, 第3・4学期:10月3日頃に, 以下の印刷物を配付します。
対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
 - ① キャンパスマップ (学務部学務企画課)
 - ② 学生証(単位互換履修生証) (学務部学務企画課)
 - ③ 自動車通学許可申請書類(希望者のみ) (学務部学務企画課)
2. 岡大ID・パスワード通知(希望者のみ) (情報統括センター)
3. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

遠隔授業科目を履修する方

申込手続完了後に, 岡山大学から履修生所属大学の単位互換担当者を通じて, 上記「1~3」の書類を, 配布します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業は, moodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有や, レポート提出等で利用いたします。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合, 本学単位互換担当者が手続を進め, その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」, 「moodleの手引き」を単位互換生へお渡ししますので, 必ず一読し, 初回授業までにログイン等の手続を終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

・ コロナ禍での実施について

本学内外の新型コロナウイルス感染拡大状況により, 一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと, ご理解いただいたうえで, お申込みください。変更が生じた場合, 申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

遠隔授業(文学部)				01101																
授業科目名:フランス語コミュニケーション1			担当教員氏名:延味 能都																	
Communication in French 1																				
履修年次 1~4	2単位	第1・2学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)																
<p>【授業の目的】 フランス語の基本的な運用能力を身につける * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。 * フランス人 TA が参加する予定ですが、新型コロナの感染状況によっては延味単独となります。</p>																				
<p>【授業内容】* 対面授業を基本としつつも遠隔での参加も可能なハイブリッド授業です。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週:動詞 être / 職業・身分を言う</td> <td>第9週:指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する</td> </tr> <tr> <td>第2週:形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う</td> <td>第10週:Il y a の構文/ 位置や場所を尋ねる・言う</td> </tr> <tr> <td>第3週:第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う</td> <td>第11週:関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する</td> </tr> <tr> <td>第4週:疑問文の作りかた / 話せる言語を言う</td> <td>第12週:指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する</td> </tr> <tr> <td>第5週:動詞 avoir / 家族について話す</td> <td>第13週:縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す</td> </tr> <tr> <td>第6週:不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞/ 年齢を尋ねる, 言う</td> <td>第14週:時刻の表現/ 時刻を尋ねる, 言う</td> </tr> <tr> <td>第7週:動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う</td> <td>第15週:試験(オーラル)</td> </tr> <tr> <td>第8週:定冠詞, 形容詞の用法/ 理由をたずねる, 言う</td> <td></td> </tr> </table>					第1週:動詞 être / 職業・身分を言う	第9週:指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する	第2週:形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う	第10週:Il y a の構文/ 位置や場所を尋ねる・言う	第3週:第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う	第11週:関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する	第4週:疑問文の作りかた / 話せる言語を言う	第12週:指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する	第5週:動詞 avoir / 家族について話す	第13週:縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す	第6週:不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞/ 年齢を尋ねる, 言う	第14週:時刻の表現/ 時刻を尋ねる, 言う	第7週:動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う	第15週:試験(オーラル)	第8週:定冠詞, 形容詞の用法/ 理由をたずねる, 言う	
第1週:動詞 être / 職業・身分を言う	第9週:指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する																			
第2週:形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う	第10週:Il y a の構文/ 位置や場所を尋ねる・言う																			
第3週:第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う	第11週:関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する																			
第4週:疑問文の作りかた / 話せる言語を言う	第12週:指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する																			
第5週:動詞 avoir / 家族について話す	第13週:縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す																			
第6週:不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞/ 年齢を尋ねる, 言う	第14週:時刻の表現/ 時刻を尋ねる, 言う																			
第7週:動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う	第15週:試験(オーラル)																			
第8週:定冠詞, 形容詞の用法/ 理由をたずねる, 言う																				
<p>【テキスト】 教科書:FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400 円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます) 販売店:生協</p>																				
<p>【参考図書】 教室にて適宜紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み 30% (会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる) 宿題 30% 学期末試験 40%</p>																				

遠隔授業(文学部)				01102
授業科目名:フランス語コミュニケーション2			担当教員氏名:萩原 直幸	
Communication in French 2				
履修年次 1~4	2単位	第3・4学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)
【授業の目的】 フランス語の基本的な運用能力を身につける * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。				
【授業内容】 * 対面授業を基本としつつも遠隔での参加も可能なハイブリッド授業です。 第1週:部分冠詞 / 食習慣について話す 第2週:中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う 第3週:代名動詞 / 習慣について話す 第4週:不規則動詞 / 日常の生活について話す 第5週:直説法複合過去(1) / 過去のことを話す 第6週:直説法複合過去(2) / 期間を言う 第7週:直説法半過去 / 過去の習慣について話す 第8週:人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す 第9週:不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う 第10週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う, 許可を求める。命令法 / 人を誘う・禁止する 第11週:近接未来 aller + 不定詞 / 近い未来の出来事について話す 第12週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる 第13週:条件法現在(2) / 願望を述べる 第14週:比較級 / 比較する 第15週:試験(オーラル)				
【テキスト】 教科書:FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400 円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます) 販売店:生協				
【参考図書】 教室にて適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 授業への取り組み 30% (会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる) 宿題 30% 学期末試験 40%				

遠隔授業(医学部)				01103
授業科目名:保健科学入門			担当教員氏名:齋藤 信也	
Introduction of Health Sciences			60分×2(火曜1・2限)	
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	定員 若干名
<p>【授業の目的】 健康と病気の考え方, 健康管理, 疾病予防, 保健活動などについて, 社会情勢やトピックスを交えて学ぶ。 授業をとおして学生自身が, より健康な日常生活の実践を意識することにより, 保健医療従事者としての自覚と責任感を養う。</p>				
<p>【授業内容】 ・発達する自己 ・大学生活とメンタルヘルス ・人間関係形成技術の基本 ・動脈硬化 ・医療放射線被曝 ・臓器移植 ・白血病と骨髄移植 ・院内感染 ・期末試験</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しない。 必要があれば授業の中で資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 評価方法は期末試験による。</p>				

遠隔授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01104						
授業科目名 : Culture and Illness			担当教員氏名 : 上杉 健志							
Culture and Illness										
履修年次 1~4	2 単位	第1学期	4 コマ	50 分 × 2 (月曜 7・8 限) 50 分 × 2 (木曜 7・8 限)						
【授業の目的】 <ul style="list-style-type: none"> ● Understand some of the key concepts in medical anthropology. ● Learn to take notes (lectures and discussions). ● Learn to read an ethnography in medical anthropology. ● Learn to apply theoretical concept to cases. 										
【授業内容】 <p>Is epilepsy a neurological disorder or a sign of blessing? Are brain dead individuals really dead? Is a fetus a person? Is a parasite part of our body? Is shamanism a hoax? Are chemical manufacturers “poisoners”? In this class we re-consider what seems like natural categories such as life and death, or body and disease, via cross-cultural examinations of medical beliefs.</p> <p>Students will be exposed to various case studies from around the world in which cultural differences in medical beliefs have led to conflicts, and learn basic concepts and ways of thinking in medical anthropology.</p>										
【テキスト】 <p>Anne Fadiman, 1997. Spirit Catches You and You Fall Down: A Hmong Child, Her American Doctors, and the Collision of Two Cultures. Farrar, Strauss and Giroux.</p>										
【参考図書】										
【成績評価の方法】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Reading Notes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Take-home Exam</td> <td style="text-align: right;">50 %</td> </tr> </table>					Participation	30%	Reading Notes	20%	Take-home Exam	50 %
Participation	30%									
Reading Notes	20%									
Take-home Exam	50 %									

遠隔授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム) * 対面授業とのリアルタイム・ハイブリッド型授業				01105	
授業科目名: 開発学入門			担当教員氏名: 山本由美子		
Introduction to Development Studies					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分 × 2 (火曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 Students will learn the different facets of development and discuss the key development issues and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understand and discuss ‘development,’ drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health, and nutrition among others.</p>					
<p>【授業内容】 This is an introductory course on development studies, with a focus on a development discourse in the postwar period. The course is designed for students who wish to work in the fields of international development or international business in the future. Other students who are willing to obtain basic knowledge in development are encouraged to attend as well. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain an in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or in other regions. In the course, we discuss various development agendas related to economic development, human development, and sustainable development.</p>					
<p>【テキスト】 No textbooks. Book chapters and articles will be assigned each week (see below).</p>					
<p>【参考図書】 Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i>. UK: Pearson. United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i>. NY: UN. United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i>. NY: UN. UNESCAP. 2019. <i>The 2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i>. Bangkok: UNESCAP.</p>					
<p>【成績評価の方法】 Active participation 30%, short weekly assignments (total of 5) 50%, country research paper 20%</p>					

遠隔授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01106
授業科目名: Feminist Ethnic Studies			担当教員氏名: 鄭 幸子	
Feminist Ethnic Studies				
履修年次 1~4	3 単位	第 1・2 学 期	2 コマ	50 分×2(火曜 7・8 限) & 50 分 On-Demand Online Learning
【授業の目的】 To prepare students for multicultural and cross-cultural settings, including classrooms and workplaces.				
【授業内容】 Week 1: Introduction Weeks 2-13: <ul style="list-style-type: none"> ● A student submits a weekly reading assignment a few days before each class after reading a book chapter or so very carefully. ● Conference, Fieldtrips, and/or Presentations Week 14: Wrap-Up				
【テキスト】 <i>Microaggressions in Everyday Life Second Edition</i> (2020) Wiley				
【参考図書】 <i>Hate Speech in Japan: The Possibility of a Non-Regulatory Approach</i> (Shinji Higaki et al. eds.) 2021 Cambridge University Press 『被差別部落女性の主体性形成に関する研究』2020 熊本理抄著 『報告書 在日コリアン女性実態調査』(第一回～第三回) アプロ編(注文は apeuro.inthefuture@gmail.com)				
【成績評価の方法】 Assignments: 40% Class Participation: 30% Others: 30%				

遠隔授業:オンデマンド型を予定(教養教育科目)				01107	
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 國米 充之		
Basic Mathematical and Data Sciences			50分×2(月曜3・4限)		
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	定員 10名	
【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。					
【授業内容】 滋賀大学 ds-mooc 教材を活用し以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解 ● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践 ● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の基礎を理解 なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			授業計画: <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会におけるデータサイエンス(1) 2. データ分析の基礎(1) 3. コンピュータを用いたデータ分析 4. データ分析の基礎(2), 現代社会におけるデータサイエンス(2) 5. データサイエンスの応用事例 6. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例 7. 機械学習の基礎・AI 利用の倫理 		
【テキスト】 “大学生のためのデータサイエンス(I), (II) オフィシャルスタディノート”, 滋賀大学データサイエンス学部編, 日本統計協会					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 滋賀大学 ds-mooc による確認テスト、岡大 Moodle での小テスト、ならびに演習課題提出により総合的に評価する					

遠隔授業(教養教育科目)				01108	
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:市岡 優典		
Basic Mathematical and Data Sciences					
履修年次 1～4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。また、各自のPCを用いて、データ分析の実習に実際に取り組む。</p>					
<p>【授業内容】 Moodleにて説明動画視聴や実習の内容を指示し、課題を提出する形式です。 授業計画は教科書の単元に沿って以下の通りに進めますが、PC実習の授業回については、ノートPC持参で対面での実習(一般教育棟B33講義室)と、オンデマンドの授業記録動画を視聴しての遠隔での実習のいずれかを選択できます。</p> <p>第1週[対面/遠隔:PC実習(Excel)] はじめに、2.データ分析の基礎(1～2)、3.コンピュータを用いたデータ分析(1～2)</p> <p>第2週[遠隔(オンデマンド教材)] 1.現代社会におけるデータサイエンス(1～6)、2.データ分析の基礎(3～5)</p> <p>第3週[対面/遠隔:PC実習(Excel, R, Python)] 2.データ分析の基礎(6～7)、3.コンピュータを用いたデータ分析(3～4)</p> <p>第4週[遠隔(オンデマンド教材)] 2.データ分析の基礎(8～10)、1.現代社会におけるデータサイエンス(7～10)</p> <p>第5週[対面/遠隔:PC実習(R, Python)] 3.コンピュータを用いたデータ分析(5～7)</p> <p>第6週[遠隔(オンデマンド教材)] 4.データサイエンスの応用事例(1～9)</p> <p>第7週[対面/遠隔:PC実習(Python)] 3.コンピュータを用いたデータ分析(7～9)、機械学習とは</p> <p>※理学部学生対象のクラスでの履修になります。</p>					
<p>【テキスト】 「大学生のためのデータサイエンス(I) オフィシャルスタディノート」 滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822341305) 及び、それに対応したオンデマンド映像教材</p>					
<p>【参考図書】 「大学生のためのデータサイエンス(II) オフィシャルスタディノート」 滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340537) 「統計学 I :データ分析の基礎」 日本統計学会編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340421)</p>					
<p>【成績評価の方法】 各回授業時の確認テスト(オンライン)、および、Moodleからの課題提出により評価する。</p>					

・対面授業科目

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01001	
授業科目名:対話による社会参画入門			担当教員氏名:桑原 敏典		
Introduction to Public Participation through a Conversation					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(金曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】</p> <p>1. 地域社会が抱える課題を発見し、その原因を探究したうえで、社会の構成員として問題解決に取り組もうとする意欲や態度を育成する。</p> <p>2. 行政やNPOなど地域社会の問題解決に取り組んでいる機関が果たしている役割等を明らかにするための調査や取材の方法を理解する。</p> <p>3. 2の調査や取材のために必要な手順や手続きを理解したうえで、実践する。</p>					
<p>【授業内容】</p> <p>※この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の 70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義と方法 第2回:NPO の役割と働き 第3回:NPO 活動の実際 第4回:地域課題発見の方法 第5回:地域課題発見のためのワークショップ 第6回:地域課題発見のための技術 第7回:地域課題解決の方法 第8回:地域課題解決のためのワークショップ 第9回:地域課題発見のための実地調査の計画立案 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査の計画立案 第12回:地域課題解決のための実地調査 第13回:地域課題解決のための社会参画活動 第14回:振り返り</p>					
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>授業の中で紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】</p> <p>活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01002
授業科目名:対話による社会参画入門上級編			担当教員氏名:桑原敏典	
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation				
履修年次 1~4	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p>【授業の目的】 この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>				
<p>【授業内容】 この授業は、皆さんが地域社会の課題を、地域の人々と関わりながら解決していくことを目指しています。そのため、必ずしも決められた曜日、時間に常に実施されるわけではありません。そのことをふまえて履修を検討してください。 第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01003	
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(基礎)			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies Civil Studies Development(basic)					
履修年次 2~4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回:公民科教育の歴史の変遷と現状 第2回:公民科教育の課題 第3回:学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回:学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回:学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回:学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回:学習指導要領公民科各科目の内容 第8回:学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回:学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回:中学校社会科・公民科の授業構成原理 第11回:中学校社会科の授業分析 第12回:公民科(公共)の授業分析 第13回:公民科(倫理)の授業分析 第14回:公民科(政治・経済)の授業分析 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。</p>					

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01004
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies Civil Studies Development(advance)				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 中学校社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中学校社会科・公民科の学習評価の考え方を理解している。 3. 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:社会科学とは何か 第2回:中学校社会科・公民科と社会科学の関係 第3回:中学校社会科・公民科(公共)と社会科学の関係と教材研究 第4回:中学校社会科・公民科(倫理)と哲学・倫理学の関係と教材研究 第5回:中学校社会科・公民科(政治・経済)と社会科学の関係と教材研究 第6回:中学校社会科・公民科と他教科の学問領域との関係と教材研究 第7回:中学校社会科・公民科の評価の理論と方法 第8回:中学校社会科・公民科の評価問題 第9回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容 第10回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容の学習指導 第11回:中学校社会科・公民科の授業づくりの方法 第12回:中学校社会科・公民科(公共)の授業計画作成と考察 第13回:中学校社会科・公民科(倫理)の授業計画作成と考察 第14回:中学校社会科・公民科(政治・経済)の授業計画作成と考察 試験</p>				
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>				
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>				
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01005	
授業科目名:初等社会科教育法			担当教員氏名:桑原 敏典		
Primary Education Social Studies Teaching Methodology					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(金曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 次の 4 点を講義の目標とする。 1. 小学校学習指導要領における社会科の目標及び内容並びに全体構造を理解する。 2. 小学校社会科の学習内容について指導上の留意点を理解する。 3. 小学校社会科の学習評価の考え方を理解する。 4. 小学校社会科とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</p>					
<p>【授業内容】 第1回 学習指導要領小学校社会科の目標 第2回 学習指導要領小学校社会科各学年の目標 第3回 学習指導要領小学校社会科の全体構造 第4回 学習指導要領小学校社会科各学年の構造と内容構成 第5回 小学校社会科で育成すべき学力と学習評価 第6回 小学校社会科における学習評価の方法 第7回 小学校社会科における学習指導 第8回 小学校社会科における学習指導上の留意点(情報機器及び教材の活用) 第9回 小学校社会科地域学習とその背景となる学問領域との関係 第10回 小学校社会科地域学習の教材研究の方法 第11回 小学校社会科産業学習・国土学習とその背景となる学問領域との関係 第12回 小学校社会科産業学習・国土学習の教材研究の方法 第13回 小学校社会科歴史学習とその背景となる学問領域との関係 第14回 小学校社会科歴史学習の教材研究の方法 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・小学校学習指導要領解説 社会編(web で閲覧可)</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『小学校社会科教育』学術図書出版、2020 年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978 年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出(50 点)と試験(50 点)により総合的に評価する。</p>					

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01006	
授業科目名:初等社会科教育法			担当教員氏名:桑原敏典		
Primary Education Social Studies Teaching Methodology					
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(火曜3・4限)	
【授業の目的】 次の4点を講義の目標とする。 1. 小学校学習指導要領における社会科の目標及び内容並びに全体構造を理解する。 2. 小学校社会科の学習内容について指導上の留意点を理解する。 3. 小学校社会科の学習評価の考え方を理解する。 4. 小学校社会科とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。					
【授業内容】 第1回 学習指導要領小学校社会科の目標 第2回 学習指導要領小学校社会科各学年の目標 第3回 学習指導要領小学校社会科の全体構造 第4回 学習指導要領小学校社会科各学年の構造と内容構成 第5回 小学校社会科で育成すべき学力と学習評価 第6回 小学校社会科における学習評価の方法 第7回 小学校社会科における学習指導 第8回 小学校社会科における学習指導上の留意点(情報機器及び教材の活用) 第9回 小学校社会科地域学習とその背景となる学問領域との関係 第10回 小学校社会科地域学習の教材研究の方法 第11回 小学校社会科産業学習・国土学習とその背景となる学問領域との関係 第12回 小学校社会科産業学習・国土学習の教材研究の方法 第13回 小学校社会科歴史学習とその背景となる学問領域との関係 第14回 小学校社会科歴史学習の教材研究の方法 試験					
【テキスト】 ・小学校学習指導要領解説 社会編(webで閲覧可)					
【参考図書】 ・社会認識教育学会編『小学校社会科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。					
【成績評価の方法】 数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。					

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01007
授業科目名:生活科教育法			担当教員氏名:桑原敏典	
Life Environment Studies Teaching Methodology				
履修年次 1~4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(水曜1・2限)
【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 生活科をめぐる諸課題とその背景を理解する。 2. 生活科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 生活科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。				
【授業内容】 第1回:生活科授業の特質 第2回:生活科授業の原理 第3回:生活科授業の課題と背景 第4回:生活科授業の指導案 第5回:生活科授業の指導案作成 第6回:生活科授業の指導法 第7回:生活科授業の指導法の原理 第8回:生活科の内容 第9回:生活科の内容編成の原理 第10回:生活科授業における教材の役割 第11回:生活科授業における学習活動の指導 第12回:生活科授業の目標設定の原理と方法 第13回:生活科授業の内容選択の原理と方法 第14回:生活科授業づくりの原理と方法 試験				
【テキスト】 ・『小学校学習指導要領解説 生活編』				
【参考図書】 授業中に指示する。				
【成績評価の方法】 数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01008	
授業科目名:生活科授業開発			担当教員氏名:桑原敏典		
Life Environment Studies Lesson Development					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	60 分×2(水曜 1・2 限)	
<p>【授業の目的】 次の 3 点を講義の目標とする。 1. 生活科の目標と方法を理解する。 2. 生活科の各分野の目標と方法を理解する。 3. 生活科の各分野の内容編成を理解する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回:生活科の目標原理 第2回:生活科の教科構造 第3回:生活科の内容編成原理 第4回:生活科の授業構成論 第5回:生活科の指導法 第6回:生活科「学校、家庭、地域」に関する学習の目標原理 第7回:生活科「学校、家庭、地域」に関する学習の内容編成 第8回:生活科「学校、家庭、地域」に関する学習の方法原理 第9回:生活科「人々、社会、自然」に関する学習の目標原理 第10回:生活科「人々、社会、自然」に関する学習の内容編成 第11回:生活科「人々、社会、自然」に関する学習の方法原理 第12回:生活科「自分の成長」に関する学習の目標原理 第13回:生活科「自分の成長」に関する学習の内容編成 第14回:生活科「自分の成長」に関する学習の方法原理 定期試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『小学校学習指導要領解説 生活編』</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出(50点)と試験(50点)により総合的に評価する。</p>					

対面授業(法学部)				01009
授業科目名:法と正義			担当教員氏名:大森 秀臣	
Law and Justice				
履修年次 3・4	2単位	第3・4学期	1コマ	90分(水曜 18:00~19:30)
<p>【授業の目的】 本講義は、法や正義をめぐる規範的な議論を検討することを通して、法や正義への根源的な問いを理解する能力や、それらへの多角的な視点を養うことを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 本講義は、「法の目指す正義とは何か」という問いについて、とくに現代の正義論を題材にして解説する。</p> <p>01 ガイダンス +法と正義 02 正義論概説—正義観念の多様性 03 正義論の思想史—近代における断絶 04 価値相対主義—規範的倫理学の復権まで 05 功利主義—最大多数の最大幸福 06 自由主義—ロールズの正義論 07 正義論の最前線—人道的介入、世界の貧困・格差 08 平等主義的リベラリズム—福祉国家の擁護論 09 リバタリアニズム—市場と自由の正義論 10 共同体論—アイデンティティと共通善 11 フェミニズム—ジェンダーと差異 12 多文化主義—文化的帰属と文化集団の多様性 13 自由主義の展開—3つのポスト自由主義 14 正義論の最前線—デモクラシー論 15 (小テスト:順不同) 16 期末試験</p>				
<p>【テキスト】 とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。</p>				
<p>【参考図書】 平井亮輔編『正義—現代社会の公共哲学を求めて』(嵯峨野書院、二〇〇四年) 神島裕子『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』(中央公論新社、二〇一八年) 宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論—ベーシックスからフロンティアまで』(法律文化社、二〇一九年) 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年)</p>				
<p>【成績評価の方法】 普段の取り組みを評価するために小テスト(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。</p>				

対面授業(経済学部) ※遠隔授業へ変更の可能性あり				01010	
授業科目名:経営学入門			担当教員氏名:藤井大児		
Introduction to Management					
履修年次 1~4	2 単位	第 1.2 学期	2 コマ	50 分 × 2(火曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 企業経営を車の両輪に喩えると、それらは企業の戦略と組織からなると考えられる。この講義は企業組織の経営管理のあり方について、とくにミクロな視点から理解を深めるものである。組織の経営管理について興味・関心を持ち、見る目を養うことが狙いであり、理論・実践の両側面からアプローチする。一方で実務的なノウハウを提供するものではない。</p>					
<p>【授業内容】 ガイドランス 研究方法 意思決定の理論 創造性の理論 集団の意思決定 リーダーシップ論 マネジャー研究 アントレプレナー研究 演習(講義の内容を映画『12 人の怒れる男』に応用)</p>					
<p>【テキスト】 岡山大学 moodle 配布。一部自身で調達。</p>					
<p>【参考図書】 映画や小説など自分で調達して鑑賞しておいてもらうなどの作業がある。レポートなどの形で、分析結果を報告してもらう。</p>					
<p>【成績評価の方法】 小テスト、レポート、試験などから総合的に評価する。合格をして単位を取るためには、課された課題を着実にこなして、点数を積み上げていけば難しくはないと思う。逆にこちらからの指示を見逃すことで不利益が生じて、個別対応はしない。特に提出物の期限などは例外を認めない。受講者が 200 名を超えることが予想されるからである。</p>					

対面授業(理学部)				01011
授業科目名:地球形成論			担当教員氏名:寺崎 英紀	
Formation of the Earth				
履修年次 3	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分 × 2 (金曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 太陽系および地球と惑星の形成過程について講述する。太陽形成期の原始太陽系星雲の進化と地球型惑星の形成過程を理解することを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 1週 太陽系の構成 2週 太陽系元素存在度 3週 惑星形成1:微惑星～原始惑星まで 4週 惑星形成2:原始惑星から惑星へ 5週 太陽系と他の惑星系(系外惑星) 6週 比較惑星学 7週 惑星大気と地球型惑星の進化 8週 期末試験</p>				
<p>【テキスト】 講義資料は学習支援システムを通じて配布</p>				
<p>【参考図書】 授業で紹介する</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験と小テストで評価する</p>				

対面授業(教養教育科目)※遠隔授業へ変更の可能性あり				01012																		
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇卓也・他																			
Essays on pain																						
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)																		
<p>【授業の目的】 痛みは生体に対する初期警告信号であり、誰もが日常で経験するが、過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序、様々な病態、最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し、日常の健康維持について考えることを目的としている。</p>																						
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 痛みの科学概説(1)</td> <td>10. 痛みの臨床(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 痛みの科学概説(2)</td> <td>11. 痛みの臨床(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 痛みの神経解剖学(1)</td> <td>12. 痛みの臨床(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 痛みの神経解剖学(2)</td> <td>13. 痛みの臨床(4)</td> </tr> <tr> <td>5. 痛みの神経生理学(1)</td> <td>14. 痛みの臨床(5)</td> </tr> <tr> <td>6. 痛みの神経生理学(2)</td> <td>15. 痛みの臨床(6)</td> </tr> <tr> <td>7. 痛みの神経薬理学(1)</td> <td>16. 痛みの科学のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 痛みの臨床(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)	2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)	3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)	4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)	5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)	6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)	7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ	8. 痛みの神経薬理学(2)		9. 痛みの臨床(1)	
1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)																					
2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)																					
3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)																					
4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)																					
5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)																					
6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)																					
7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ																					
8. 痛みの神経薬理学(2)																						
9. 痛みの臨床(1)																						
<p>【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。</p>																						
<p>【参考図書】 授業中に紹介する。</p>																						
<p>【成績評価の方法】 毎回授業終了時にレポート提出を課し、出席点と併せて総合評価する。</p>																						

対面授業(薬学部)				01013	
授業科目名:薬用植物学			担当教員氏名:谷口 抄子		
Medicinal Botany					
履修年次 1	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 7・8 限)	
【授業の目的】 主要な薬用植物の分類上の位置とその医療への利用について概説できる。					
【授業内容】 植物は疾病の予防や治療に利用されてきた長い歴史があり、近代になってこれらに科学的な裏づけが加えられるようになるとともに、植物から得られた成分を元に多くの医薬品が生み出されてきている。本講義では薬用植物の医療への利用について概説する。					
【テキスト】 『薬用植物学』 出版社:南江堂 著者名:木村孟淳 [ほか] 編集 出版年:2013 ISBN:978-4-524-40307-3					
【参考図書】 『最新薬用植物学』 出版社:廣川書店 著者名:奥田拓男編 出版年:2008 ISBN:4567411242 『大系薬用植物資源学』 出版社:京都廣川書店 著者名:波多野力編著 ; 寺林進, 池谷幸信共著 出版年:2011 ISBN:4901789805 各種の植物図鑑等を参考にして、植物の形態や分類に関する学習を進めると良い。また、有機化学関係の書籍を参考にして、化合物群に共通の構造の理解を深めると良い。適宜資料を配布する。					
【成績評価の方法】 評価方法:講授業への取り組み状況(50%)レポート(50%) 出席について:成績判定の基準に2/3以上の出席を課する。 評価者:授業担当教員 評価時期:学期末					

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01014								
授業科目名 : Sociological Imagination			担当教員氏名 : 宮川 陽名									
Sociological Imagination												
履修年次 1~4	2 単位	第 2 学期	4 コマ	50 分 × 2 (月曜 7・8 限) 50 分 × 2 (木曜 7・8 限)								
<p>【授業の目的】 英語で開講される社会学の導入科目。小説を読み進めながら、社会学的視点・感性やコンセプトについて学ぶ。適宜、新聞・雑誌記事・ラジオ番組・Youtubeなどを副教材として活用し、現代社会の事象についても考えていく。</p>												
<p>【授業内容】 This is an introductory course in sociology. Students will explore what it means to ‘see’ from a sociological perspective through reading a novel, <i>Little Fires Everywhere: A Novel</i> by Celeste Ng as well as various news and journalistic articles, and engaging in discussions. Some of the basic sociological concepts discussed in this course include but are not limited to stratification, class, inequality, globalization, ethnicity, race, gender, family, socialization, social order, social networks, institutions, norm, conformity, and deviance.</p>												
<p>【テキスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> Giddens, Anthony, Mitchell Duneier, Richard P. Applebaum, and Deborah Carr. 2018. <i>Introduction to Sociology 11th Edition (Seagull)</i>. New York, NY: W.W. Norton & Company. Ng, Celeste. 2018. <i>Little Fires Everywhere: A Novel</i>. London, UK: Abacus. 												
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> Bauman, Zygmunt and Tim May. 2001. <i>Thinking Sociologically, 2nd Edition</i>. Oxford, UK: Blackwell Publishing. Mills, C. Wright. 1959. <i>Sociological Imagination</i>. Oxford, UK: Oxford University Press. <i>Contexts: Understanding People in Their Social Worlds</i>, a magazine published by the American Sociological Association. 												
<p>【成績評価の方法】</p> <table> <tr> <td>• Weekly Writing Exercises (i.e., 6 DB's)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>• Short Essay</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>• Final Essay</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>• In-Class Discussion & Participation</td> <td>30%</td> </tr> </table>					• Weekly Writing Exercises (i.e., 6 DB's)	30%	• Short Essay	15%	• Final Essay	25%	• In-Class Discussion & Participation	30%
• Weekly Writing Exercises (i.e., 6 DB's)	30%											
• Short Essay	15%											
• Final Essay	25%											
• In-Class Discussion & Participation	30%											

対面授業(教養教育科目)				01015
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1コマ	4月13日, 1月18日は必ず出席すること。授業は水曜日 18時30分より開始するので要注意。
<p>【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探究し, 理論と実践の融合をはかる。</p>				
<p>【授業内容】 I 4月13日(水) オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて) II 下記の講義 1)~8)より 7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月27日(水)スポーツと膝 2) 5月18日(水)スポーツ栄養 3) 6月22日(水)応急処置 4) 7月20日(水)オリンピックまでの道のり 5)10月19日(水)鋼のメンタルを手に入れる ステップ 1 6)11月16日(水)スポーツと腰痛 7)12月14日(水)スポーツと歯科 8) 1月18日(水)スポーツと法 III 1月18日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて)</p>				
<p>【テキスト】 テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 特になし</p>				
<p>【成績評価の方法】 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01016
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	1学期	2コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか, それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は,「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1学期と2学期をセットで受講することが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び, 作文などを行う)と, 韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ, 易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で, 総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01017
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	2学期	2コマ 火 5・6時限 各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を 学び、作文などを行う)と、韓国文化に 関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易し い韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の文 型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
【テキスト】 プリント			
【参考図書】			
【成績評価の方法】 期末試験(40%)、小テスト・授業へ の取り組み・出席状況(60%)で、総 合的に評価する。			

対面授業(教養教育科目)			01018
授業科目名:韓国語中級		担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	3学期	2コマ 火 5.6時限 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3学期と4学期をセットで受講することが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
【テキスト】 プリント			
【参考図書】			
【成績評価の方法】 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。			

対面授業(教養教育科目)	01019
--------------	-------

授業科目名:韓国語中級				担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	4 学期	2コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 3 学期と 4 学期をセットで受講する ことが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を 学び、作文などを行う)と、韓国文化に 関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易し い韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の 文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業へ の取り組み・出席状況(60%)で、総 合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01020	
授業科目名:子どもの歴史の学び方				担当教員氏名:桑原敏典	
Perception of history controversy and History education					
履修年次 1年生～	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)	
【授業の目的】 この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。					
【授業内容】 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 期末試験					
【テキスト】 使用しません。					
【参考図書】 授業中に指示します。					
【成績評価の方法】 期末試験(50%) + レポート(30%) + コメントシート(20%)					

対面授業(教養教育科目)				01021
授業科目名:子どもの歴史の学び方			担当教員氏名:桑原敏典	
Perception of history controversy and History education				
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)
【授業の目的】 この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
【授業内容】 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 期末試験				
【テキスト】 使用しません。				
【参考図書】 授業中に指示します。				
【成績評価の方法】 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01022	
授業科目名:交流による子どもの成長支援 I				担当教員氏名:桑原敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction I					
履修年次 1年生～	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>					
<p>【授業内容】授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会 第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割 第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り— 第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り— 第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的 第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動 第7回:「中学生だっぴ」とは何か 第8回:「中学生だっぴ」の成果 第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割 第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験 第11回:「中学生だっぴ」の準備 第12回:「中学生だっぴ」の運営 第13回:「中学生だっぴ」の体験 第14回:活動報告会</p>					
<p>【テキスト】 使用しない。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01023	
授業科目名:交流による子どもの成長支援Ⅱ				担当教員氏名:桑原敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅱ					
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>					
<p>【授業内容】授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会 第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割 第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り— 第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り— 第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的 第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動 第7回:「中学生だっぴ」とは何か 第8回:「中学生だっぴ」の成果 第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割 第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験 第11回:「中学生だっぴ」の準備 第12回:「中学生だっぴ」の運営 第13回:「中学生だっぴ」の体験 第14回:活動報告会</p>					
<p>【テキスト】 使用しない。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01024	
授業科目名:メディエーション入門				担当教員氏名:濱田 陽子	
Introduction to Mediation					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	1コマ	50 分×2(金曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 本授業では、私人間のもめごとを処理するために用いられる諸制度(民事紛争処理制度)のうち、話し合いと合意によって(そして多くの場合、法律による判断や評価もなしに)もめごとを解決する方法である調停(メディエーション)について実践的に学習します。メディエーションは、敵対的になりやすい紛争当事者間の関係を修復し、平和的で建設的な話し合いによってもめごとを処理する方法です。しかし、メディエーションは紛争当事者に妥協を求めません。こうしたメディエーションの性質、有用性、可能性を学び、メディエーションで使われる基本的な技法を身につけることで、今後、学校やサークル、職場などで、必ずしも裁判所による紛争解決になじまない性質のトラブルが生じたときに、メディエーションを使って平和的で建設的なトラブル処理ができるようになることを目的とします。</p>					
<p>【授業内容】 第 1 回:紛争とは何か 第 2 回:もめごとの構造 第 3 回:裁判による紛争解決 第 4 回:民事調停・メディエーション 第 5 回:模擬調停① 第 6 回:振り返り 第 7 回:解決の方向を探る 第 8 回:当事者の話を聴く 第 9 回:自分の理解を確かめる 第 10 回:事案の理解を深める 第 11 回:感情を理解する 第 12 回:解決を創造する 第 13 回:模擬調停② 第 14 回:振り返り</p>					
<p>【テキスト】 指定しない</p>					
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水野修次郎＝井上孝代『ワークブック「対話」のためのコミュニケーション：ピアメディエーションによるもめごと防止』(2017 年、協同出版) ・ 井上孝代『あの人と和解する』(2005 年、集英社) ・ レビン小林久子『調停者ハンドブック:調停の理念と技法』(1998 年、信山社) ・ 池谷裕二＝鈴木仁志『和解する脳』(2010 年、講談社) ・ マーシャル・ローゼンバーグ著(安納献監訳)『NVC 人と人との関係にいのちを吹き込む法』(2018 年日本経済新聞出版社) 					
<p>【成績評価の方法】 授業態度(40%)、小レポート(50%)、クラスへの特別な貢献(10%)により評価します。小レポートの評価に際しては、受講者同士で評価するピアレビューが組み込まれます。</p>					

対面授業(教養教育科目)				01025	
授業科目名:メディエーション入門				担当教員氏名:濱田 陽子	
Introduction to Mediation					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(金曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 本授業では、私人間のもめごとを処理するために用いられる諸制度(民事紛争処理制度)のうち、話し合いと合意によって(そして多くの場合、法律による判断や評価もなしに)もめごとを解決する方法である調停(メディエーション)について実践的に学習します。メディエーションは、敵対的になりやすい紛争当事者間の関係を修復し、平和的で建設的な話し合いによってもめごとを処理する方法です。しかし、メディエーションは紛争当事者に妥協を求めません。こうしたメディエーションの性質、有用性、可能性を学び、メディエーションで使われる基本的な技法を身につけることで、今後、学校やサークル、職場などで、必ずしも裁判所による紛争解決になじまない性質のトラブルが生じたときに、メディエーションを使って平和的で建設的なトラブル処理ができるようになることを目的とします。</p>					
<p>【授業内容】 第 1 回: 紛争とは何か 第 2 回: もめごとの構造 第 3 回: 裁判による紛争解決 第 4 回: 民事調停・メディエーション 第 5 回: 模擬調停① 第 6 回: 振り返り 第 7 回: 解決の方向を探る 第 8 回: 当事者の話を聴く 第 9 回: 自分の理解を確かめる 第 10 回: 事案の理解を深める 第 11 回: 感情を理解する 第 12 回: 解決を創造する 第 13 回: 模擬調停② 第 14 回: 振り返り</p>					
<p>【テキスト】 指定しない</p>					
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水野修次郎＝井上孝代『ワークブック「対話」のためのコミュニケーション：ピアメディエーションによるもめごと防止』(2017 年、協同出版) ・ 井上孝代『あの人と和解する』(2005 年、集英社) ・ レビン小林久子『調停者ハンドブック: 調停の理念と技法』(1998 年、信山社) ・ 池谷裕二＝鈴木仁志『和解する脳』(2010 年、講談社) ・ マーシャル・ローゼンバーグ著(安納献監訳)『NVC 人と人との関係にいのちを吹き込む法』(2018 年日本経済新聞出版社) 					
<p>【成績評価の方法】 授業態度(40%)、小レポート(50%)、クラスへの特別な貢献(10%)により評価します。小レポートの評価に際しては、受講者同士で評価するピアレビューが組み込まれます。</p>					

対面授業(教養教育)				01026	
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名:寺東 宏明		
Introduction of Safety and Health					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(金曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p>					
<p>【授業内容】職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、作業環境測定、健康管理、放射線安全管理、災害対策等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。授業は全 8 回で、内容は①ガイダンス、日本の安全衛生の現状、②安全衛生関連法令・規則、③作業環境管理・作業環境測定、④作業管理、⑤健康管理、⑥災害時における安全衛生管理、⑦放射線安全管理、⑧期末試験、である。</p>					
【テキスト】指定しない。					
【参考図書】講義中に紹介する。					
<p>【成績評価の方法】期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100 点満点で、講義中の小テストは各 10 点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。</p>					

対面授業(教養教育科目)				01027
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1～4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の概要 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割 3. 生命保険契約のしくみ 4. 生命保険会社の組織・業務 等 <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出 				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 ・特にありません。</p>				
<p>【成績評価の方法】 ・授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01028
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照) 1. 社会保障制度の概要 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割 3. 生命保険契約のしくみ 4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照) 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出</p>				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 ・特にありません。</p>				
<p>【成績評価の方法】 ・授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(工学部)				01029	
授業科目名:分散データ管理演習			担当教員氏名: 横平 徳美, 福島行信, 長田 繁幸, 小寺 雄太		
Distributed Data Management Lab					
履修年次 3~4	1 単位	夏季集中	21 コマ (3 日間)	50 分 × 21 (9/7~9)	
<p>【授業の目的】 離散数学と公開鍵暗号の基礎知識を学習する。秘密分散共有法と分散復号を学習し、実装演習および解読実験を通して理解を深める。また、セキュリティ対策について学ぶために、CTF 演習を通して攻撃者の利用するツールの特性や視点を理解して、効果的な対策方法を検討できるようになる。</p>					
<p>【授業内容】 近年、分散データ管理が重要なテーマである。本科目では、分散データ管理を実現するのに必要な秘密分散共有法についてその理論と実装について学ぶ。また、効果的なセキュリティ対策を講じられるように、攻撃者がもつ技術や視点を、ゲーム形式(CTF: Capture The Flag)で学習する。</p>					
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>					
<p>【参考図書】 コンピュータ数学関連書籍</p>					
<p>【成績評価の方法】 レポートにより評価する</p>					

対面授業(工学部)				01030	
授業科目名:セキュリティ実装演習 A				担当教員氏名: 野上 保之, 小寺雄太, 谷本 親哉	
Security Implementation A Lab					
履修年次 3~4	1 単位	夏季集中	15 コマ (2 日間)	50 分 × 15 (9/15~16)	
<p>【授業の目的】 楕円曲線暗号を具体的な例として公開鍵暗号の役割を学び、その計算量的な観点からの安全性について学ぶ。そして、鍵長などのセキュリティパラメータの適切な設定について、衝突型解読攻撃を実装・実験することにより、具体的に理解する。</p>					
<p>【授業内容】 IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす。その中で、楕円曲線暗号や RSA 暗号など公開鍵暗号は、ユーザや機器を電子的に認証するために用いられており、その鍵長などセキュリティパラメータは、計算量的な安全性評価に基づいて適切に設定されなければならない。本演習では、楕円曲線暗号を具体的なターゲットとして、衝突型の暗号解読攻撃プログラムを実装し、その計算量的な安全性の評価方法について学ぶ。</p>					
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>					
<p>【参考図書】 コンピュータ数学, プログラミング関連書籍</p>					
<p>【成績評価の方法】 出席とレポートにより評価する</p>					

対面授業(工学部)				01031
授業科目名:セキュリティ実装演習 B				担当教員氏名:野上 保之, 五百旗頭 健吾, 小寺 雄太, 谷本 親哉
Security Implementation B Lab				
履修年次 3~4	1 単位	第 4 学期 集中	15 コマ (2 日間)	50 分×15 (9/20~21:ハイブリッド, 11/3~4:原則対面)※日程選択可能
<p>【授業の目的】 暗号技術の歴史、現代暗号の原理、アプリケーションを学び、IoT 時代において情報や社会システム、インフラ等の安全性がどのように担保されているかを学ぶ。また、暗号アルゴリズムのハードウェア実装の基礎を学ぶ。さらに暗号のハードウェア実装に対するサイドチャネル攻撃の原理を学び、暗号技術への多様な脅威についてその原理及び対策技術に関する基礎知識を習得する。</p>				
<p>【授業内容】 IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす。その一方で暗号計算のハードウェア実装の仕方によっては、その理論的な解読困難さにも関わらず物理的な手段によって短時間で解読できる攻撃(サイドチャネル攻撃)が知られている。本講義では、暗号技術の歴史と原理、用途について学ぶとともに、ハードウェア実装を体験し、その基礎を学ぶ。さらに、ハードウェア実装された暗号計算に対するサイドチャネル攻撃による解読を体験し、攻撃原理とその防御のための基礎知識を学ぶ。</p>				
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>				
<p>【参考図書】 コンピュータ数学, プログラミング, 回路理論, 論理回路に関する書籍</p>				
<p>【成績評価の方法】 出席とレポートにより評価する</p>				

対面授業(農学部)				01032																												
授業科目名: 農場体験実習				担当教員氏名: 齊藤 邦行																												
Experience of Farm Practice																																
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																												
<p>【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。</p>																																
<p>【授業内容】本年度は牧場宿泊施設の利用を行いません。</p> <p>1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ksaitoh@以下は okayama-u.ac.jp)に直接メールにて問い合わせして下さい。 8月5日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月20, 21, 22日)、以下のような要領で実習を行います。</p> <p>1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。</p> <p>2)教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。</p> <p>3)実習日程(詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する)</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>9月20日(火)</th> <th>9月21日(水)</th> <th>9月22日(木)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹の管理1</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 果樹の管理2</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 野菜の管理1</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理2</td> <td>13:15-15:00 フドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-17:00 フドウの品質測定</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>14:00-15:30 稲刈り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>15:30-16:00 着替え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>16:00 解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>4)終了後レポートはメールにて提出する。</p>						9月20日(火)	9月21日(水)	9月22日(木)	10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 果樹の管理2	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 フドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-17:00 フドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)		17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り			15:30-16:00 着替え			16:00 解散
9月20日(火)	9月21日(水)	9月22日(木)																														
10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)																														
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 果樹の管理2	9:45-10:45 草地の管理																														
13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																														
15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 フドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																														
17:00 解散	15:15-17:00 フドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)																														
	17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り																														
		15:30-16:00 着替え																														
		16:00 解散																														
<p>【テキスト】 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																																
<p>【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																																
<p>【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																																

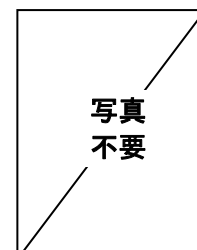
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科		年
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 - Tel () -				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日：第1～2学期：4月1日(金)15時まで 第3～4学期：9月20日(火)15時まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01101	フランス語コミュニケーション1	専門	延味 能都	2	第1 第2 学期	1～4		火 8:40～10:30		
01102	フランス語コミュニケーション2	専門	萩原 直幸	2	第3 第4 学期	1～4		火 8:40～10:30		
01103	保健科学入門	専門	齋藤 信也	1	第1 学期	1	若干名(オンライン授業)	火 8:40～10:50		
01104	Culture and Illness	専門	上杉 健志	2	第1 学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月・木 15:30～17:20		
01105	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1 学期	1～4		火 15:30～17:20		
01106	Feminist Ethnic Studies	専門	鄭 幸子	3	第1 第2 学期	1～4		火 15:30～17:20		
01107	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3 学期	1～4	文系学生対象	月 10:45～12:35		
01108	数理・データサイエンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第3 学期	1～4	理系学生対象	月 10:45～12:35		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01001	対話による社会参画入門	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	常に右記の日程で実施するわけではない。	金 15:30~17:20		
01002	対話による社会参画入門上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	必ず「対話による社会参画入門」と合わせて履修すること。また、開講時間については、必ずシラバスの授業内容を確認すること。	金 15:30~17:20		
01003	中等社会科・公民科授業開発(基礎)	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2~4		月 8:40~10:30		
01004	中等社会科・公民科授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2~4		月 8:40~10:30		
01005	初等社会科教育法	専門	桑原 敏典	1	第1学期	1~4	同一科目のため、どちらかを履修すること。	金 15:30~17:20		
01006	初等社会科教育法	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1~4		火 10:45~12:35		
01007	生活科教育法	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1~4		水 8:40~10:30		
01008	生活科授業開発	専門	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		水 8:40~10:30		
01009	法と正義	専門	大森 秀臣	2	第3 第4学期	3.4	状況によっては授業形態を対面授業から遠隔授業に変更する場合がある。	水 18:00~19:30		
01010	経営学入門	専門	藤井 大児	2	第1 第2学期	1~4		火 15:30~17:20		
01011	地球形成論	専門	寺崎 英紀	1	第1学期	3	基本的に対面にて開催	金 13:25~15:15		
01012	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01013	薬用植物学	専門	谷口 抄子	1	第1学期	1		火 15:30~17:20		
01014	Sociological Imagination	専門	宮川 陽名	2	第2学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月木 15:30~17:20		
01015	健康・スポーツ科学 C	教養	鈴木 久雄	1	1~4 またがり	1~4		水 18:30~20:10		
01016	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01017	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2学期	1~4		火 13:25~15:15		
01018	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01019	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1~4		火 13:25~15:15		
01020	子どもの歴史の学び方	教養	桑原 敏典	1	第1学期	1~4	同一科目のため、どちらかを履修すること。	木 8:40~10:30		
01021	子どもの歴史の学び方	教養	桑原 敏典	1	第2学期	1~4		木 8:40~10:30		
01022	交流による子どもの成長支援 I	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	開講時間については、必ずシラバスの授業内容を確認すること。	月 15:30~17:20		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
01023	交流による子どもの成長支援Ⅱ	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	開講時間については、必ずシラバスの授業内容を確認すること。	月 15:30~17:20		
01024	メディアーション入門	教養	濱田 陽子	1	第2学期	1~4	同一科目のため、どちらかを履修すること。	金 13:25~15:15		
01025	メディアーション入門	教養	濱田 陽子	1	第3学期	1~4		金 15:30~17:20		
01026	安全衛生入門	教養	寺東 宏明	1	第4学期	1~4		金 13:25~15:15		
01027	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第1学期	1~4	同一科目のため、どちらかを履修すること。	月 13:25~15:15		
01028	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第2学期	1~4		金 13:25~15:15		
01029	分散データ管理演習	学科専門科目	横平 徳美 福島 行信 長田 繁幸 小寺 雄太	1	夏季集中		理工系学部3年次生以上	夏季集中期間 (9/7~9: 3日間)		
01030	セキュリティ実装演習A	学科専門科目	野上 保之 小寺 雄太 谷本 親哉	1	夏季集中		理工系学部3年次生以上	夏季集中期間 (9/15~16: 2日間)		
01031	セキュリティ実装演習B	学科専門科目	野上 保之 五百旗頭 健吾 小寺 雄太 谷本 親哉	1	第4学期集中		理工系学部3年次生以上 日程選択可能のため、どちらかを選択して履修すること。授業形態については、シラバスを確認すること。	第4学期集中期間 9/20~21: 2日間		
								第4学期集中期間 11/3~4: 2日間		
01032	農場体験実習	専門	齊藤 邦行	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センター 定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	夏季集中 (9/20~22: 3日間)		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚